

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成19年12月6日(2007.12.6)

【公表番号】特表2007-517363(P2007-517363A)

【公表日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【年通号数】公開・登録公報2007-024

【出願番号】特願2006-545335(P2006-545335)

【国際特許分類】

F 2 1 S	2/00	(2006.01)
F 2 1 V	8/00	(2006.01)
G 0 2 B	6/00	(2006.01)
G 0 2 B	6/42	(2006.01)
F 2 1 Y	101/00	(2006.01)

【F I】

F 2 1 S	1/00	F
F 2 1 V	8/00	B
G 0 2 B	6/00	3 3 1
G 0 2 B	6/42	
F 2 1 Y	101:00	

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月22日(2007.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

互いに反対側の光入射端および光出射端を有する細長い可撓性光ファイバ素子と、前記光ファイバ素子の光入射端にある光源と、

前記光ファイバ素子の前記光入射端を支持し、前記光ファイバ素子の前記光出射端が支持される収納位置と、前記光ファイバ素子の前記光出射端が前記収納位置から離れた動作位置にあるような延長使用位置との間での前記光ファイバ素子の移動を可能にするための手段と、を備えるタスクライトアセンブリであって、

前記光源および前記光ファイバ素子の前記光入射端を支持しつつ前記収納位置と前記延長使用位置との間での前記光ファイバ素子を可能にするための前記手段は、リールアセンブリを備え、

前記リールアセンブリは、ハブと、前記ハブを支持部材に支持するための手段と、前記ハブに回転可能に取り付けられるリールとを備え、

前記リールは、直径が少なくとも30.5cmである略円筒形の周縁面を有し、前記光源および前記光ファイバ素子の前記光入射端は前記リールアセンブリに取り付けられ、前記光ファイバ素子の長さの80%超が前記収納位置で前記リールの周縁面に巻かれ、

前記リールアセンブリは、

(1) 第1の方向への回転のために前記リールを偏倚するとともに、回転の際に前記光ファイバ素子を前記リールの周縁面の周囲に巻き付けることができる偏倚手段と、

(2) 前記偏倚手段に対抗して前記リールの周縁面の周囲から前記光ファイバ素子を解くために、第2の方向への前記リールの回転を可能にする回転手段と、

(3) 前記偏倚手段に対抗して前記ハブに対して複数の位置のうちの1つで前記リ

ールを解放可能に保持するための、前記ハブと前記リールとの間の保持手段と、を備え、前記保持手段は前記光ファイバ素子に沿って張力の付与および除去によって係合可能かつ解放可能である、タスクライトアセンブリ。

【請求項 2】

前記リールの前記略円筒形の周縁面は、直径が少なくとも 45.7 cm である、請求項 1 に記載のタスクライトアセンブリ。

【請求項 3】

前記支持手段は前記リールに前記光源および前記光ファイバ素子の前記光入射端を支持し、前記光源は 48 ボルト以下の電圧および少なくとも 50 ワットの電力で動作する白熱電球またはハロゲン電球である、請求項 1 に記載のタスクライトアセンブリ。